

自殺対策の連携考えよう 支援のNPO代表講演 来月4日、県庁で / 鹿児島県  
20070125 朝日新聞

自殺を未然に防ぐだけでなく、未遂者や遺族への支援のあり方などを考える講演会が2月4日、県庁2階の講堂で開かれる。県主催で、無料。

元NHKディレクターでNPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」代表の清水康之さんを講師に招く。「自殺総合対策へ～新しいつながりが、新しい解決力を生む～」の題で、午後2時から3時半まで。

06年10月には、自殺対策を政府や地方自治体の責務と明記した自殺対策基本法が施行され、清水さんもその成立に深く携わった。自殺対策を総合的に進めるため、いろんな立場の人があちこちで連携することの重要性を訴えている。

全国では98年以来、8年連続で自殺者が3万人を超えている。県によると、県内の昨年の自殺者は522人でここ数年横ばい状態。人口10万人に対する自殺の死亡率は28・1%（04年）で、全国9位。

県障害福祉課は「自殺はとても身近なこと。行政も努力するが、NPOなど市民運動の立場からも一緒に取り組んでいける人が県内で増えてくれるとありがたい」としている。